(非公式訳)

機械の売却/譲渡/寄付の申請

- 1) 社名 _____ (Tax ID _____)
奨励された業種 _____ 奨励証書番号 _____ 日付 _____
奨励証書に基づく事業規模 _____

担当者名 _____ 電話 _____ 内線 _____ ファックス _____ メール _____

- 2) 奨励証書に基づく機械輸入期限 _____
3) プロジェクト全体完成締切日 _____
 _____ において事務局により奨励番号 _____ 号の奨励事業を完全に操業した。
 製造を開始したが、まだ事務局より操業開始を認可されていない。
 プロジェクトに基づく製品をまだ製造していない。
4) 奨励証書には 輸出条件がない。
 輸出条件あり、会社は添付した _____ 枚事務局の調査報告書により輸出している。 操業していないため、調査されていない。

- 5) 会社は添付した機械リストで第 _____ 条に基づき輸入した機械を以下のことを行なう。(以下の に1つだけ を付けてください。1つ以上のことを行なう場合は別紙を使ってください。)

- 売却する。売却先は _____
 譲渡する。譲渡先は _____ その Tax ID は _____)

奨励証書番号 _____ 号日付 _____ 第 _____ 条に基づき機械輸入恩典が付与され、その輸入期限は _____

- 寄付する。その寄付先は政府機関/政府団体/慈善団体である _____ であり、その使用目的は _____

以上の事がすべて事実であることを保証する。

署名 _____ (代表取締役)

(社印)

(_____)

日付 _____

(非公式訳)

事務局は以下の規定に当てはまるもののみ機械の売却・譲渡・寄付を許可する。

許可される機械は以下 1-3 項全項の内容に当てはまるもの出なければならない。また、第 4 項に基づき内容を検討する。	担当官用、当てはまる/当てはまらないと判断し、その理由を示しなさい。
1. 事務局より輸入恩典を付与された機械のみであること。	
2. 会社はこれまで奨励証書の条件（例えば、操業、輸出、事業停止、許可なしに他の目的に機械を使用しないなど）に正しく従って行なってきた。	
3. 工程を変更させたり、奨励証書に基づく生産力を±20%以上変更させたりしないこと。但し、申請する機械に代わる代替機械がある場合は除く。	
4. 1 売却の申請の場合 機械の何れの輸入年数が 5 年以下の場合、会社は売却日における状態で関税を払わなければならない。5 年以上の場合は免税で許可する。	
4. 2 譲渡の場合 譲渡先は譲渡される機械を受けるのに相応しいプロジェクトを持った奨励者でなければならない。例えば、プロジェクトの製造工程に中古機械を使用することのなっており、機械の輸入機関が残っているなど。譲渡先の方が恩典が少ない場合、譲渡元が機械関税の超過分を払わなければならない。	
4. 3 寄付の場合 機械を使用できる政府機関、政府団体または慈善団体のみ許可する。	

_____ 部長殿 (担当課用)
 以上の会社の _____ 申請書を検討した。私の意見は以下となる。

許可すべき。当てはまる規定は _____

許可しないべき。当てはまらなかった規定は _____
 どうぞ、ご検討ください。

署名 _____ 担当官

合意する 合意しない

署名し、その通り進めなさい。

部長 _____

売却/譲渡/寄付を申請する (非公式訳)
 輸入恩典に基づき輸入された機械リスト
 株式会社、奨励番号 _____ 号、日付 _____

明細および数量	輸入明細		輸入日	使用される製造工程	申請する生産能力
	通関命令 番号	日付			

注記：申請する機械全点の輸入エビデンスを添付して、全頁に社印を押して著名して確認してください。機械が多くこの用紙が足りない場合、この用紙を複写してよい。

(社印)

著名 _____ (代表取締役)

(_____)

日付 _____